

水田たより 11月号

令和2年11月1日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

令和2年産水稻の生育概要

令和2年産水稻の生育は、5月から6月が高温で推移し、分けつ期間が短縮されたことにより穂数が少なくなりました。また、7月の低温・日照不足及び8月の高温の影響で千粒重が小さくなり、これらの要因により収量が減少しました。

また、今年は害虫の発生が多く、特にカメムシ類による吸汁被害がみられました。なかでも晩生の品種においては、不稔（傾穂しない）による収量の減少や吸汁痕による等級への影響がみられました。来年作に向けた対策等については次号以降でお伝えしていく予定です。

令和2年産水稻収量調査結果

桑名普及センター調べ

品種	場所	移植日	成熟期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m ²)	くず米 比率(%)	精玄米重 (kg/10a)	千粒重 (g)	タンパク 含有率(%)
あきたこまち	長島	4月10日	8月11日	94	19.6	435	7.1	344	21.5	7.9
コシヒカリ	桑名	4月22日	8月20日	86	19.7	388	2.3	502	21.7	5.7
コシヒカリ	大安	4月26日	8月24日	89	18.6	288	1.4	426	21.5	6.2
キヌヒカリ	大安	5月18日	9月5日	77	18.5	272	1.7	382	21.5	6.9

大豆の収穫と選別

収穫前の除草

大豆収穫時には場に残る雑草は、汚損粒や異物混入の原因となりますので、必ず収穫前に雑草の抜き取りあるいは除草剤処理を行いましょう。

除草については今年作だけではなく、来年作の雑草抑制にもつながりますので、必ず行うようにしましょう。

【影響を及ぼす雑草類】

- ・汚損粒の原因：ケイトウ類、ホオズキ類
- ・異物混入の原因：ジュズダマ

対策として

雑草や青立ち株は収穫前に**抜き取り**ましょう。

抜ききれない場合は収穫前に以下の非選択性除草剤を散布することが可能です。

< 収穫前に使える除草剤 >

ラウンドアップマックスロード：落葉終期～収穫14日前まで使用可能

農薬の使用にあたっては、ラベルに記載された内容を十分に確認してください。

収穫適期

早刈りは、乾燥に時間を要し、汚損粒や破碎粒の発生原因にもなります。遅刈りは、裂莢しやすく収穫ロスが発生します。**茎水分や子実水分の状況を見て適期に収穫**しましょう。

コンバイン刈りの場合、茎水分50%以下・子実水分18%以下が適期で、茎がやや黒みを帯び、子実に爪を立てると少し爪跡が残る状態（手でポキッと折れる状態）が目安です。

朝露・夜露も汚損粒の原因となります。刈取時間は10時から16時までが適しています。

（裏面へ）



ジュズダマ

ジュズダマはハトムギの仲間で、白い種子は色彩選別機で除去できず、食品に混入してしまい問題となっています。

大豆の選別方法について

三重県産大豆は、以前より実需者から「茎・莢」「石や泥玉」「ジュズダマなど他植物の種」などの異物混入クレームが多数寄せられており、強く改善を求められている状況です。

そのため、風力選別機（粗選機）と傾斜選別機への投入量の調整等により、今以上の異物除去を進め**選別精度を上げ、上位等級比率の向上を図りましょう。**

麦類における獣害対策

餌付けをしていませんか

厳冬期は緑草が少なくなることから、**麦類はシカにとって恰好のエサ**となります。例年、被害を確認している場所では必ず、**ネット柵や電気柵で囲う**対策を実施しましょう。

物理的な柵が一番効果的です

麦類のシカ害対策は、ほ場を物理的に柵で囲って守るのが一番効果的で、電気柵はさらに有効な対策となります。

ネット柵の場合は、シカの跳躍力を考慮して2m程度の高さが必要です。**電気柵の場合は1.7m程度**で効果があります。**地上から30cm間隔に電気線を3段**、その上は**40センチ間隔に線**（電気線でなくても構いません）**を2段の計5段**としましょう。また、**イノシシ害**も見受けられるような場合は、**最下段を20cm間隔の2段**に変えましょう。

その他の対策として、かかしや強いにおいのするもの（犬の糞尿など）を置く、強い光や音を鳴らすなどの対策もありますが、どれも一時的なものとなりますので、費用や時間はかかりますが**柵による侵入防止策を基本**に進めましょう。



シカによる食害痕



5段の電気柵

ご相談ください

ネット柵や電気柵で獣害対策をしているが被害にあってしまう方、どのように行ってよいか分からない方、普及センターへご相談ください。**一緒により良い対策で被害ゼロを目指しましょう。**

<水田たよりの訂正について>

水田たより9月号に記載した、チゼル等を導入した深耕に対する県枠の産地交付金の支払いは、令和2年産麦までの対策でしたので訂正します。

LINE

桑名普及センター LINE 公式アカウント 配信中！

桑名普及センターでは、LINE 公式アカウントを取得し、作物関係の情報を配信しております。JA及び普及センターが配布しております、紙ベースの水田たより等から友だち追加を行ってください。ホームページにおいては、これまで通り、過去の水田たよりや他の情報も掲載していません。桑名普及でご検索ください。